

2023年度 授業改善アンケート第3Q「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	学生自由意見記述
社会学入門 (M)	3 Q	山本 一彦	理解度がそれなりの水準であったことから、授業展開は概ね妥当なものを受け止めている。ただ、板書等、同じ状況に対して受講者の受け止め方が異なる面もあるので、今後、受講者のより多くが納得できる方法を工夫したい。また、勉学意欲の高い受講者にとっての受講環境の維持にはさらに努めたい。
社会学入門 (S・D・A)	3 Q	松下 守邦	Q8「授業内容の理解」肯定80%、否定20%、Q10「全体的な満足度」肯定72%、否定25%でした。テキストにある社会学の重要用語と、資料映像を関連付けて、社会学概念の文章課題を設定しました。文章作成の方法、テキスト読解の方法について、さらに授業改善をすすめます。
外国の歴史	3 Q	横田 肇	全項目にわたり概ね高評価で、例年通りの結果であったので、大枠として今後も今のやり方を踏襲したい。ただ、より効果的な説明の仕方、スライドの提示方法、定期試験偏重の是正等の改善に取り組みたい。また、最新の研究動向・成果の把握と授業への反映も検討し、内容の更新も図っていく。
北海道誌	3 Q	塩崎 大輔	「シラバスは授業時の説明や記述が適切でしたか。」という問いに対して、不十分という回答があった。今後は、第1回におけるシラバスの説明をより詳細に行い、授業に対する理解度向上に努める。
基礎英語Ⅱ (S・D・A)	3 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「先生が面白く授業が楽しいものになっているので最後まで集中して学ぶことができている。」「先生が生徒と顔が広く色々なサイトの情報を知っているの、明るい雰囲気があります。」「まだまだ英語は苦手ですが、理解できない、きらいといった気持ちは薄れてきました。」「ハロウィン可愛かったです。」、「西崎先生だいすきです。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
人文地理学Ⅱ	3 Q	塩崎 大輔	パソコンを使ったGIS実習が中心であり、関心は高いものの理解度にばらつきが見られた。そのため、実習のカリキュラム構成をより学生の理解度に応じた構成に改善していく。また使用するソフトに関しても、今後よりGISを理解できるソフトや教材を検討していく。
基礎英語Ⅱ (S・D・A)	3 Q	横田 肇	例年、扱う項目と学習内容が多くなる科目であるが、過年度に比べ、全体的に評価が上がっており、少し安心している。ただ、理解と関心の項目の評価が若干低く、こちらの努力とともに受講者の奮起も期待したい。引き続き、効果的な指導法と練習方法を検討し、実践していく。また、一部参加意欲の低い受講者の対策と改善にも努めたい。
基礎英語Ⅱ (S・D・A)	3 Q	井坂 肇	授業の理解度、満足度は概ね良好であった。音声が入る時に2回再生して進度を調整した点が良かった。また、声の大きさ、授業の展開に注意した成果が出ていた。確認事項を多く取り入れた点は次年度も継続したい。一方で英語そのものに興味を持っていない学生が多いので、次年度から教科書を変更し、実生活での音の聞き取りをメインにして、クイズ形式の多い、授業に参加している感覚を持てるものにしたい。
基礎英語Ⅱ (S・D・A)	3 Q	岡島 徳昭	理解度にバラつきがあるので難しい面もあるが、英語の基礎作りを目指した授業を展開したい。
経済学概論 (S)	3 Q	河野 善文	コメントを参考にこれからもわかりやすい授業をめざします。私語等についても注意していきたいと思います。
社会学と社会システム	3 Q	松下 守邦	Q8「授業内容の理解」肯定 (30+8+27=65%)、否定 (30+5=35%)、Q10「全体的な満足度」肯定 (35+5+38=78%)、否定 (19+3=22)、でした。テキストにある社会学の重要用語と、国家試験過去問題の枝問を関連付けて、社会学概念の文章課題を設定しました。文章作成の方法、テキスト読解の方法について、さらに授業改善をすすめます。
権利擁護を支える法制度	3 Q	星野 秀治	出席を誤魔化している学生がいたという指摘があり、実態を把握して対応していきたいと思います。講義の内容について理解しづらかったとの声もあり、試験でも理解度の差があるように受け止めました。より多くの学生が授業内容を理解できるように、教材等工夫していきたいと思います。
保健医療と福祉	3 Q	宮崎 剛司	今後はより「とても適切であった」と評価されるよう、学生の学習進度をさらに細かく見極め、それを踏まえて丁寧かつわかりやすい指導を心掛けていきたいと思っています。このために、学生一人ひとりの理解度や興味のある分野を詳細に把握し、それに応じた個別の指導計画を強化します。
マカ経済学	3 Q	河野 善文	難しいという声もありましたので、アンケートの意見にあったように、今後も丁寧な説明をこころがけたいと思います。
基礎英語Ⅱ (S・D・A)	3 Q	宮嶋 達也	約9割の受講生が満足していると回答であり、自由記述の欄にはすべて授業に関わるポジティブな意見でした。これらの回答を踏まえて引き続き、学生が満足のいく授業展開を心がけていきたいと考えております。
建築構造力学Ⅱ	3 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。アンケート設問の結果は理解度、満足度ともに90%以上となり、全体的に良い評価を得ました。演習課題の解答もできるだけ授業内で実施できました。また簡単なモデルを利用した力の流れなどの説明も好評でした。今後も理解しやすい授業に取り組んでい

ポ-社会学	3 Q	戸佐 晃一	指摘のあった部分について、今後、混乱を招かないように注意をして今後の授業の中で改善していきたいと思います。
ポ-社会学 (SP)	3 Q	戸佐 晃一	評価の低かった部分に関して検討を加えて、今後、より分かりやすい内容に変更していきたい。
建築システム論	3 Q	向井 正伸	スライドの端がプロジェクターの投影範囲から外れており、見えにくかったため、プロジェクター設定等を調整し、スライド全てを写すよう工夫します。
福祉環境計画論	3 Q	佐々木 哲之	この科目は単元ごと学生の理解度を確認しながら授業展開をしていくため、単元ごと学生が理解・確認のため授業内容の整理の時間を設けている。また受講した学生はこの科目に非常に興味を持ち授業を受けてくれた。アンケート結果は全体的には概ね満足できる結果であった。授業内容の整理与えた時間と授業進度のバランスを再度検討していきたい。
建築法規Ⅱ	3 Q	佐藤 善太郎	建築法規ⅡはⅠの用語の勉強を受けて、いよいよ具体的な法律の解釈に入る単元です。言い換えればここが勝負の分かれ目で、ここで躓くと法規が嫌いになってしまう恐れがあるところです。法規が嫌いになると建築士取得は困難になります。授業ではそうならないように、必要以上に条文の解釈や例題の解き方に時間をかけたつもりですが、試験結果を見ると何人か理解がつかない者も見受けられました。法規はⅡまでが必修ですのでⅢ以降は履修しない者も居ると思われませんが、法規は続き物ですので履修の継続を勧めます。意見・要望では授業が理解できたという意見と、黒板の字が汚いという意見が毎年出てきますが、黒板については中々治りません。(たぶん、ムリかも)
精神障害リハビリテーション論	3 Q	畠山 明子	コメントありがとうございます。配布資料や教材内容の検討等、より理解が深まるように今後も工夫していきたいと思います。
ストレスとメンタルヘルス	3 Q	吉澤 英里	貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。概ね良い評価を頂いたと認識します。もう少し、学生の理解度を確認しながら進めると良いとのコメントをいただきましたので、今後はその点を改善します。
発達心理学Ⅱ	3 Q	蝦名 美穂	授業の進め方について、もう少し内容を絞って提示できるように、次年度以降工夫をしたいと思います。そうすることにより、より学生間での意見交流などを行うことができると考えております。
生涯学習概論Ⅱ (M)	3 Q	藤根 収	学生の皆さんの協力を得ながら、分かりやすく、グループワークなども交えた参加型の授業作りに努めました。学生の皆さんからも比較的高い評価をいただきました。嬉しく思います。これに慢心せずに、今後も授業改善に努めてまいります。
生涯学習概論Ⅱ (S・D・A)	3 Q	藤根 収	学生の皆さんの協力を得ながら、分かりやすく、グループワークなども交えた参加型の授業作りに努めました。学生の皆さんからも満足度など高い評価をいただきましたので、嬉しく思います。これに慢心せず、今後も授業改善に努めてまいります。
知的障害者の心理・生理・病理	3 Q	堀川 厚志	おおむね、良好な結果と受け止めている。1名が時間配分、進め方があまり適切ではないと回答していることから、指摘内容は不明であるが、時間配分と進め方にゆとりを持たせるよう努めたい。内容のボリュームがあり、一度では理解しづらい内容も確かにあるため、内容の絞り込みを進めたい。
美術学概論Ⅱ	3 Q	寺嶋 弘道	1日2講義のクォーター制のもとで2テーマを実施するという前提への理解を促すとともに、時間配分や事後学習の位置づけを明確化する必要がある。また、授業の目標とするところの一つは、学修者が自ら考察し、その思考内容を自身の言葉で表現することにあるので、単に知識や回答を得ようとする受動的な受講者の意識を変革するよう改善に努めたい。
保育内容総論	3 Q	佐藤 慶知	アンケートの内容を参考にさせていただき、今後の講義にいかしていきたいと思ひます。
知的障害教育Ⅰ	3 Q	藤根 収	学生の皆さんに分かりやすい授業作りに努めました。学生の皆さんからも高い評価をいただいたと思いますので、よかったと思います。これに慢心することなく、授業改善に努めてまいります。
トレーニング科学Ⅱ	3 Q	篠原 諒介	授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございます。今年度はなるべく分かりやすい講義づくりを意識し、進めて参りましたが、多くの学生からいい反応を頂いたので、今後も継続していきたいと思ひます。また、「理解で気なかつた」という回答がなかつたことは今後も達成できるように努力して参ります。
西洋経済史(M)	3 Q	小林 大州介	受講生の皆さん、第3Qお疲れ様でした。予想外に良いご評価を頂き恐縮です。次年度からはより良い環境で受講できる講義を目指したいと思います。
日本政治史 (M)	3 Q	後藤 啓倫	受講生の皆様、授業お疲れさまでした。政治の歴史といったとっつきにくい内容にもかかわらず、授業では多くの質問、コメントをありがとうございました。また、アンケートにもご協力いただきありがとうございました。より良い授業になるよう、アンケート結果を参考に今後も精進してまいります。
日本政治史 (S)	3 Q	後藤 啓倫	受講生の皆様、授業お疲れさまでした。政治の歴史といったとっつきにくい内容にもかかわらず、授業では多くの質問、コメントをありがとうございました。また、アンケートにもご協力いただきありがとうございました。より良い授業になるよう、アンケート結果を参考に今後も精進してまいります。

音楽表現Ⅰ	3 Q	小黒 万里子	楽典説明から個々の実技指導等、時間が超過し休み時間がずれ気味だった事に対し、学生には申し訳なく思っております。以後、時間内に授業を進めていきます。実技演習において、初心者は大変なことと思いますが、少しずつ弾けるようになりますので、頑張ってください。
言語表現	3 Q	吉江 幸子	言語表現の受講有り難うございました。保育士課程必修科目ですが、課程以外の学生も参加し一緒にスケッチブックシアター製作や発表を進めることができました。協力的に参加してくれたことが嬉しいです。アンケート結果も回答者の8割が満足度の高い結果となりました。特に今年度は保育交流体験もありましたが、子どもと遊ぶ日を楽しみにしながら事前準備にとりかかった皆さんの姿勢は今後の実習へとつながっていく良い経験となりました。
乳児保育Ⅱ	3 Q	吉江 幸子	前期に続き乳児保育Ⅱの受講有り難うございました。保育士課程必修科目ですが、課程以外の学生も参加し一緒に実技演習や発表などを進めることができました。実技演習後のレポートでは「経験することで次は何を・どうするか、という見通しをもつことができる」といった感想も多く聞かれました。アンケート結果も回答者の8割が満足度の高い結果となりましたので今後も演習や発表の機会を多く持つ内容で進めたいと思います。
西洋経済史 (S)	3 Q	小林 大州介	受講生の皆さん、第3Qお疲れ様でした。予想外に良いご評価を頂き恐縮です。次年度からはより良い環境で受講できる講義を目指したいと思います。
WEBデザインⅠ	3 Q	山腰 雅樹	今回WEBデザインⅠの担当になった為、授業内容の改編を行いました。概ね適切と思ってもらえたようで安心しました。とはいえ、初めての方も多く分かりづらいところも少々あったように思えます。より分かりやすく伝えるための資料作りや説明の仕方等は今後も改善を続けていこうと思います。
アニメーションⅠ	3 Q	梅田 真紀	100%の回答率で、すべての設問に対して肯定的な回答を得られました。課題内容を理解するための更なる工夫と、履修生のモチベーションを保つために進捗状況の確認を丁寧にしていきたいと思えます。
金融論	3 Q	小林 大州介	受講生の皆様。予想以上のご評価、ありがとうございます。今後もますます良い講義を作っていくよう、頑張ります。第3Qお疲れ様でした。
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	3 Q	上原 正希	授業の評価方法に悩みました。テストを簡単にすると全員の点数が良くなり、SAをつけたい学生が多くなる、しかし%が決まっているので、結果、Sの学生をAへ、Aの学生をBへとしなくてはいけなくなりました。それではテストを難しくすれば良いという話になりますが、それはそれで皆さんはどのように思うのか。これは私というか、本学の評価方法の課題です。とりあえず修正すべきことはしていきたいとは思っています。
デザイン製図Ⅱ	3 Q	松岡 龍介	この科目は、将来、美術においては幾何学的な立体造形を創作するような事に興味のある学生や、プロダクトデザイナーやインダストリアル・デザイナーとして社会で活躍しようとする学生、あるいは、高校の美術教員（工芸）の教員として指導にあたることを希望する学生たちのための「最初の製図表現」のデザイン製図Ⅰの続きの内容です。三面図や立体図、CG等の表現を学び、誰にでも判りやすい内容で、より具体的な課題を制作します。
東洋・日本美術史Ⅱ	3 Q	苦名 真	通史的に辿った第一クォーターの「東洋日本美術史Ⅰ」とは異なり、今期の「東洋日本美術史Ⅱ」では毎回テーマを変え、モチーフ、ジャンル、技法別に取り上げるオムニバスの内容となったため、皆さんも頭の整理をつけるのが大変だったことと思います。それでも毎回真摯な姿勢で授業に臨み、それぞれ自分の言葉で作品の印象などを語ってくれたおかげで、とても気持ちよく講義を進めることができました。ありがとうございました。
経営組織論	3 Q	信濃 吉彦	概ね好評価だったので胸をなでおろしております。学生の皆さんは、日々の学習ルーティンが足りないと思います。頑張ってみてください。多数あったノート提出に関するクレームには応じません。「写経」と表現している学生も居ましたが、日々の学習を単なる写経としていること自体が大問題だと思いま
経営管理論	3 Q	信濃 吉彦	概ね好評価でした。ありがとうございます。小職の言動についてのクレームに関しては今後真摯に対応し、気を配るようになります。成績に関して疑問のある学生はいつでも研究室にお越しください。説明させていただきます。ノート提出の義務に関しては今後辞める気は全くありません。
建築環境Ⅱ	3 Q	伊藤 裕康	授業内容については多くの学生が十分理解しているようですが、理解不十分または復習をしておらず知識の定着がなされていない学生がいることが小テストからわかりました。そのような学生を授業に集中させるために次回小テストまで最前列に座らせましたが、他の方法も検討してみます。
鋼構造	3 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございます。理解度、満足度ともに90%以上の回答であり、アンケート10項目全般に良い評価を得ました。資格試験に関連する演習問題を要望する意見がありました。演習問題の構成を再検討して、鋼構造関連の2級建築士演習などを検討いたします。

建築生産	3 Q	小笠原 健	この科目は、建築士試験の主要科目であり、建築士試験の受験資格となる講座でもある。極力、板書の時間を節約し、かつ、少々講義スピードも速かったかもしれないが、学習したスキルを定着させるため、小テストと解説による確認の時間を確保するため、ギリギリの時間でなんとか全カリキュラムを漏らさずに終えている。また、この講義内容を退屈に感じる生徒もいたが、定期試験や模擬試験で十分な得点を取った学生は皆無に等しい。また、例年と比べ定期試験や模擬試験の平均点も最高得点も低く、もっと真剣に講義を受けてもらいたいと切に希望する。
測量学	3 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。アンケートの10項目すべてにおいて、80%以上の評価をうけていました。さらにプロジェクト資料、配布資料を改善して理解しやすい授業内容にしていきます。また測量機器の操作体験なども取り入れていきたいと思っています。
社会的養護 II	3 Q	杉本 大輔	学生の要望に全て答えることができませんでした。猛省します。
民法 (M)	3 Q	青山 浩之	民法は第3クォーター月曜日4講目と木曜日3講目の科目で、履修者97名、平均出席者83名(平均出席率80%)という状況で、回答者が91名(経営87名)と回答率87%(経営90%)であった。授業の内容は興味や関心が持てたか、全体的満足度でも、高評価を受けた。記述のコメントでは、「小テストを設けてくれた事により理解度深まり」「回答率の掲示により難易度の把握もできた」と評価を受けました。「事例の正解は書いてほしい」との指摘を受けました。これからも理解度を高め、興味や関心を持てるように工夫していきたい。
経済学概論	3 Q	河野 善文	コメントを参考にこれからはわかりやすい授業をめざします。私語等についてもきづいたものはしっかりと注意していきたいと思っています。
民法 (S)	3 Q	青山 浩之	民法は第3クォーター月曜日4講目と木曜日3講目の科目で、履修者97名(社福7名)、平均出席者83名(平均出席率80%)という状況で、回答者が91名(社福4名)と回答率87%(社福57%)であった。授業の内容は興味や関心が持てたか、全体的満足度でも、高評価を受けた。記述のコメントでは、「資料に沿って授業を行い説明も聞きやすく民法を知ることができました」と評価を受けました。これからも理解度を高め、興味や関心を持てるように工夫していきたい。
ビジネス法務	3 Q	青山 浩之	ビジネス法務は、第3クォーター火曜日4講目と金曜日4講目の科目で、履修者63名、平均出席者52名(平均出席率83%)という状況で、回答者が57名であった。授業の内容は興味や関心が持てたか、全体的満足度でも、高評価を受けた。記述のコメントでは、「身の回りにおける内容も含まれていた為理解しやすい講義」と評価を受けました。これからも興味や関心を持てるように工夫し
肢体不自由教育 I	3 Q	千葉 聡美	昨年の反省を生かして、実技、疑似体験をどうやって入れていくか工夫した。まだ途上ではあるが、体験をとおして理解することは学生の反応が良く、肢体不自由教育 II において、指導方法を考える上で重要になると考える。内容が難しいと感じる学生も多いが、特別支援教育の基礎が詰まっている分野なので、難しいが面白いと感じられるように改善していきたい。
病弱者の心理・生理・病理	3 Q	千葉 聡美	前期の病弱教育を受講してからこの講義を取っている学生もおり、内容の重複、難易の逆転があったが如何ともしがたい。病弱教育は通常学校にこそ知識が必要な分野であり、通常学校の教員を希望している学生にはそこを強調するようにした。難病関係の動画が多数上がっているのので、授業内容に即して有効に活用できた。
経営戦略論	3 Q	鈴木 重政	順調に理解が進み、単位取得状況も問題がありません。この調子で次年度も講義を行います。
経営戦略論 (SP)	3 Q	鈴木 重政	S評価の学生がいる一方でF評価の学生も散見されるなど、成績の優劣がはっきりしているクラスでした。理解能力が不足しているため事実と全く異なるコメントを書く学生がいるのは心外です。事実のみを公表するシステムが必要と感じます。
デザイン基礎	3 Q	薦田 勇智	アンケートへの回答ありがとうございました。この授業はオンデマンドという性質上、理解しにくかった面があったかと思いますが皆さんよく頑張ってくれたと思います。それを踏まえたうえで、来年からはさらに分かりやすい授業になるよう工夫する次第です。
スポーツ生理学	3 Q	天野 雅斗	内容が難しかったとのコメントがありましたので、体験型にするなどより学生が興味をもち理解しやすい教授法を模索します。
国際政治論 (M)	3 Q	後藤 啓倫	受講生の皆様、授業お疲れさまでした。国際政治は難しいですが、皆さんよく頑張って授業を聞いてくれたと思います。授業に関する多くの質問、コメントをありがとうございました。また、アンケートにもご協力いただきありがとうございました。より良い授業になるよう、アンケート結果を参考に今後も精進してまいります。
国際政治論 (S)	3 Q	後藤 啓倫	受講生の皆様、授業お疲れさまでした。国際政治は難しいですが、皆さんよく頑張って授業を聞いてくれたと思います。授業に関する多くの質問、コメントをありがとうございました。また、アンケートにもご協力いただきありがとうございました。より良い授業になるよう、アンケート結果を参考に今後も精進してまいります。

ホスピタリティ指導論	3 Q	高井 雅一	今年から授業で使用する教科書が変わり、教材研究の不足もあり学生に迷惑をかけたように感じている。来年度に向け教材の精選に努め、わかりやすい授業を展開していきたい。
クリエイション概論	3 Q	尾西 則昭	評価ありがとうございます。皆さんからいただいた評価を次年度に向けて引き続き工夫と改善に努めてまいります。ありがとうございました。
イノベーションマネジメント論	3 Q	阿部 裕樹	イノベーションの概念は昨今、注目度の高いDXと深い関係があります。デジタルの活用により新しい価値を創出するという考え方は我が国の将来を担う若い世代にこそ浸透させていく必要があります。今後も受講者全員の興味をひき、満足度を得られるような講義に内容を工夫していきたいと思います。
産業心理学 (M) (S)	3 Q	吉澤 英里	(産業心理学 経営学科・社会福祉学科の両方を踏まえてコメントします) アンケートにお答えいただき、ありがとうございます。概ね満足していただけたと認識しました。コメントでは他学生の私語についての言及がありました。こまめに注意をしてはいましたが、それでも改善が見られなかった点は今後の課題です。
ホスピタリティマネジメント論	3 Q	五ノ井 壽一	授業により興味を持ち、より理解を高めるために創意・工夫努力します。(体験談を取り入れるなどして)
ソーシャルワークの理論と方法 I (M)	3 Q	櫻井 美帆子	聞きなれない言葉や外国の人名などが多く、難しかったかと思えます(特にソーシャルワークのアプローチ)。理解ができなかった部分などありましたらいつでも声をかけて下さい。この科目を機にソーシャルワークに関心を持って頂けたら幸いです。
ソーシャルワークの理論と方法 I (S)	3 Q	櫻井 美帆子	聞きなれない言葉や外国の人名などが多く、難しかったかと思えます(特にソーシャルワークのアプローチ)。理解ができなかった部分などありましたらいつでも声をかけて下さい。
哲学概論	3 Q	遠藤 均	授業内容が多岐にわたり、しかも、かなり高度なものまで含まれていたにもかかわらず、よく理解してくれていたようですね。安心しました。また、受講生の皆さんは、物静かな方が多く、反応が掴みづらかったのですが、授業満足度が100%肯定的でしたので、安堵した次第です。この授業が、皆さんの今後の人生のお役に立つことを切に願っています。
コーチング 方法論	3 Q	伊藤 博	皆熱心に講義を受け、実習やテストにも真摯に取り組む姿勢に感謝しております。今回のアンケートを受けて、来年以降もより理解しやすく、今後に活かせる内容に更新していきたいと思います。今後の学生生活や競技活動、社会人になった後の生活に今回の講義が少しでもお役に立てれば嬉しい限りです。受講者全員の今後の活躍を祈念しております。有難うございました。頑張ってください！
教育史	3 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が97%でした。「グループワークがあり将来自分が教員になる際にどのようにアクティブラーニングを行えばいいかを考えることが出来た。」「苦手な教育史でしたが、全ての授業が終わって全体的な流れを掴むことが出来ました。」「アクティブ・ラーニングを実行していた点に関して良かったと思う。」等の評価を励みに一層の改善に努めます。
生徒・進路指導論	3 Q	高井 雅一	今まで持込みの試験を実施したことがなく、どこかで行き違いがあったようである。試験前の授業で再度確認すべきであったと反省している。今後、授業中、学生の理解度の確認、配布資料の精選や学生の発言の機会を多く取り入れた授業を展開していきたい。